



Word



Excel



Sway



OneNote



Publisher



PowerPoint



Teams



Visio



Access



Outlook



Exchange



Yammer



SharePoint



Forms



Skype



OneDrive



Stream



Family Safety



Lists



Planner



Power BI



Power Apps



Power Automate



Power Virtual Agents



To Do



Bookings

Microsoft トピックス情報 (4月度版)

※2026年4月10日時点の情報となり、今後変更となる可能性がございます。ご了承ください。



Agent 365 5月提供開始予定①

Agent 365 は、社内で使われる AI エージェントを「見える化・安全に管理」するための、Microsoft 365 管理者向け統合基盤。CopilotやカスタムAIを本格導入する企業向けの、ガバナンス前提のエージェント管理サービスです。

参考:[Microsoft Agent 365 の概要](#) | [Microsoft Learn](#)

Agent 365でできること

✓ 組織内で使われているAIエージェントを「見える化」できる

👉 「社内で、どんなAIが、どれだけ使われているか」を把握できる仕組み

✓ AIエージェントごとに「身元(ID)」を持たせられる

👉 AIを“匿名の存在”ではなく、“社員と同じ管理対象”として扱える

✓ AIエージェントがアクセスできる範囲を制限できる

👉 AIに“何でも見せない・触らせない”ための安全装置

✓ AIエージェントの動きを監視・チェックできる

👉 AIを“放置しない”ための見張り役

✓ セキュリティ・監査・コンプライアンスにも対応できる

👉 AIを使っても、セキュリティ・監査の説明ができる

✓ Copilotや業務ツールと連携したAIを“管理したまま”使える

👉 便利さはそのままに、ガバナンスだけ後付けではなく最初から入れられる

✓ AIエージェントを作る・広げるための“土台”になる

👉 部署ごとにバラバラなAIを作らせず、会社として統一管理できる

導入をお勧めする企業

- ✓ IT管理者がいる企業
- ✓ セキュリティ・コンプライアンス重視の企業
- ✓ AIエージェントを業務に本格活用したい企業
- ✓ 自社・外部のAIエージェントを併用する企業

利用条件

- ✓ Frontier プレビュープログラムへの参加必須
Microsoft Agent 365 は現在プレビュー提供
Frontier プレビュープログラムへの参加が必須
プレビュー利用は、既存のプレビュー利用規約が適用
機能・提供内容は今後変更される可能性あり
- ✓ Microsoft 365 Copilot ライセンスが必要
Frontier 経由で Agent 365 を有効化するには、
テナントに Microsoft 365 Copilot ライセンスが最低1つ必要



Agent 365 5月提供開始予定②

Copilotと何が違うの？

| 観点 | Microsoft 365 Copilot | Microsoft Agent 365 |
|-------|-----------------------|---------------------|
| 位置づけ | AIアシスタント(利用する側) | AIエージェント管理基盤(管理する側) |
| 主な利用者 | 情報労働者(一般ユーザー) | IT管理者/セキュリティ/開発者 |
| 目的 | 業務生産性の向上 | エージェントの統制・可視化・安全運用 |
| 対象 | 人が使うAI | 人+AIエージェント全体 |
| 提供価値 | 「作業が楽になる」 | 「安心してAIを使わせることが可能」 |

Point

Agent 365 は Copilot を“統制付きで”本格活用するための土台となるものです。

「AIを使わせたいが、どんなエージェントが、何にアクセスしているか把握できない」

「部門が勝手にAIエージェントを使い始めるのが怖い」

「監査・ガバナンス・セキュリティが説明できない」

👉 ここを補完するのが Agent 365です！



Microsoft 365 E7 5月提供開始予定①

AI を「試す」段階から、「全社で安全に実行する」段階へ進む企業向けに設計された、Microsoft 365 の最上位エンタープライズスイート、Microsoft 365 E7 が提供開始となります。
参考:[Microsoft 365 E7 紹介:フロンティアスイート](#)

概要

E5 を土台に、Copilot と AI エージェントを“ガバナンス込み”で統合したスイート製品

構成要素

Microsoft 365 E5

生産性・セキュリティ・コンプライアンスの基盤

Microsoft 365 Copilot

日常業務に組み込まれた
AI(Word / Excel / Teams など)

Microsoft Entra Suite

ユーザーだけでなくAI エージェントも含めた
ID / アクセス制御

Agent 365

AI エージェントを可視化・統制・管理するための
新しいコントロールプレーン

機能差異

E5 は「セキュリティ・コンプライアンスの完成形」。

E7 はそこにCopilot Agent 365Entra Suiteを1 SKU に統合し、**AI が業務を実行しても統制できる状態を前提**にしています。

| 観点 | E3 / E5 | E7 |
|--------------|----------------|------------------|
| 基本コンセプト | 人の生産性・セキュリティ中心 | 人+AIエージェントの実行を前提 |
| Copilot | 追加ライセンス | 標準で含まれる |
| AIエージェント管理 | なし | Agent 365 が含まれる |
| ID / ガバナンス対象 | ユーザー中心 | ユーザー+AIエージェント |
| AIの位置づけ | 支援・補助 | 業務を“実行する存在” |

E7 vs E5 + 個別購入どちらがお得？ E7 がお勧めとなるケースは？

01 フル構成を個別購入した場合

| 構成要素 | 月額 |
|-----------------------|--------------|
| Microsoft 365 E5 | \$60 |
| Microsoft 365 Copilot | \$30 |
| Agent 365 | \$15 |
| Microsoft Entra Suite | \$12 |
| 合計 | \$117 |

02 E7を購入した場合

| 構成 | 月額 |
|------------------|-------------|
| Microsoft 365 E7 | \$99 |
| 合計 | \$99 |

構成要素を全て揃える場合、E7の方が最大約**15%**割安！

Point

Copilot や Agent を一部ユーザーだけに付ける
エージェント活用は 未検討
まず ROI を小さく検証したい

⇒E5 + 個別購入を選択するのがお勧め！

Point

E5 をベースにCopilot を全社展開し、AIエージェント活用を業務に組み込む
セキュリティ/ID/ガバナンスを 後付けしたくない

⇒最初からE7を選択するのがお勧め！

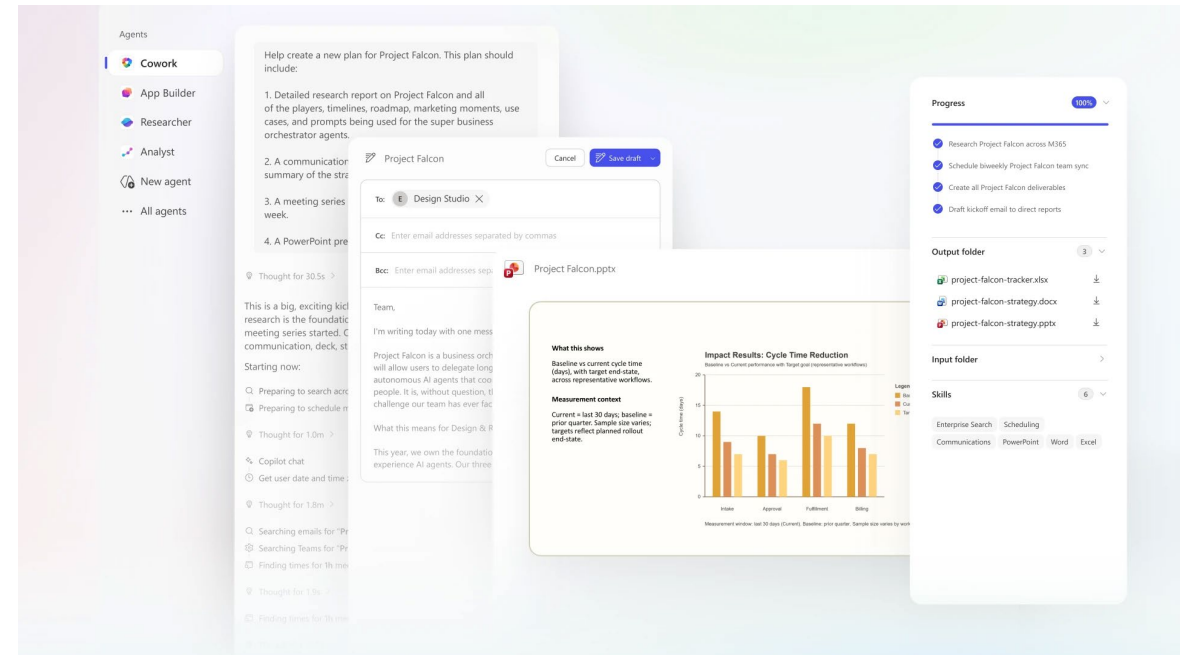


【新製品】 Copilot Cowork

Copilot とエージェントが働き方を進化させ、企業の変革 “Frontier Transformation” を次のステージへ
Copilot Cowork は、Microsoft 365 Copilot の次世代機能として現在は Research Preview 段階

- **Copilot Cowork** (GA時期未定、3月下旬から Frontier program で提供拡大予定)
Anthropic と密接に連携し、Claude Cowork を支える技術を Copilot に統合
複雑なタスクをステップに分解し、自律的にバックグラウンドでマルチタスクを完遂
You tube:[Meet Copilot Cowork: A New Way of Getting Work Done](#)
- “Edit with” Word, Excel, PowerPoint, Outlook “で編集”
プレビューだった「エージェントモード」を一般提供にむけて「Copilot で編集」に進化
組織や業務の文脈を深く理解し、“生成するだけ” から “仕事を一緒に進める” へ
- **マルチモデル・インテリジェンス**
言語モデルを意識せず、仕事に最適な様々な AI を統合活用
複数の最先端モデルを、業務の文脈に合わせて Copilot が自動選択
あらゆるアプリで OpenAI, Anthropic, and more...
- **フロンティアスイート Agent 365, Microsoft 365 E7**
将来の数十億のエージェント時代にむけて、鍵は「信頼・管理・セキュリティ」
Agent 365 がエージェントを統制し、ME7 が人と AI の働き方を拡張

使い慣れたアプリで、データを価値あるインサイトに



Blog: [Powering Frontier Transformation with Copilot and agents | Microsoft 365 Blog](#)



新しいチャット

検索

ライブラリ

作成

エージェント

リサーチ ツール

アナリスト

Sales

Cowork

App Builder (Frontier)

Agent Builder Guide

新しいエージェント

すべてのエージェント

ノートブック

Agent 365 フィールドFA...

A365 プレスト

すべてのノートブック

チャット

チームの文化を向上させるた...

現時点の最新のマッチウィー...

アプリ 10

Kenta Wada
M365 Copilot (Premium)

What should we tackle next?

+ How can I help you today?

AI-generated content may be incorrect

Get to work

Organize my inbox

Organize my week

Prep for a meeting

Research a company

タスク **ビデオが見つかりませ** See all

スターバックス企業調査レポート作成 ● In progress
11 min ago

Analyzing your recent activity

日本マイクロソフトに関する総合調査 ● In progress
16 min ago

Gathering your recent activity data.

マイクロソフトの企業分析レポート作成 ● Archived
3:11 PM

Analyzing your recent activity

今後の会議準備を総合的にサポート ● Archived
2:50 PM

Reviewing your demonstration materials.

Frontier Suiteのブログ分析と顧客向けプレゼン資料作成 ● Archived
2:12 PM

Preparing your analysis results now.



スタンドアロンプランが終了します



スタンドアロン SharePoint Online および OneDrive for Business プランが廃止となります。
参考:[2026年1月のお知らせ - Partner Center announcements | Microsoft Learn](#)

対象製品

- ・SharePoint(Plan 1) /SharePoint(Plan 2)
- ・OneDrive for business(Plan 1) / OneDrive for business (Plan 2)

| 区分 | 時期 | 意味 |
|-----------|------------|--------------------------------|
| 提供終了のお知らせ | 2026年1月下旬 | 影響対象のお客様への通知開始 |
| 販売終了 | 2026年5月31日 | 2026年6月1日から新規購入不可。既存顧客のみ更新可(※) |
| 有効期限 | 2027年1月 | 更新不可。既存契約は「契約期間満了まで」利用可 |
| サービスの終了 | 2029年12月 | サービス自体が停止。全顧客が利用不可 |

(※)2027年1月以前に更新された既存契約は「契約満了日まで」有効となります。よって、最後に更新できた契約が最長で有効期限まで残ることになります。

今後 (2027/1以降)

2027～2029年は移行猶予期間となります。
Microsoft 365 スイートへの移行検討、ご準備をお願い致します。

PowerPoint の Copilot に「説明する(Explainer)」機能が追加されました。
選択した用語の「資料の内容に即した」意味を理解する手助けになります！

- 複雑なスライド内容を即座に理解

専門用語、略語、情報量の多いスライドなどを、その場ですぐに要約・説明。
Web 検索や読み返しをせず、作業の流れを止めない。

- スライド文脈に基づいた説明

一般的な説明ではなく、選択したスライドやオブジェクトの文脈に即した
解説を提供。

- 直感的で簡単な操作

テキストボックス、テキストの一部、スライド、表などを右クリックし、
「説明する」を選択するだけ。ワンクリックで利用可能。

- キャンバスを邪魔しない表示

説明内容は Copilot サイドペインに表示され、スライド編集画面はすっきり。

- 簡潔で読みやすい解説

Copilot が選択部分について、短く要点を押さえた説明を生成。

下記ユーザーがご利用できます

- ・ Microsoft 365 Copilot ライセンスご契約者
- ・ Windows:Version 2510(Build 19328.20072)以降
- ・ Mac:Version 16.103(Build 25110343)以降

The screenshot shows a PowerPoint slide with a table. A context menu is open over the table, with the '説明する' (Explain) option highlighted. A red arrow points from the Copilot sidebar to the '説明する' option. The Copilot sidebar on the right displays the following text:

Copilot
ご質問は「CSV」という選択テキストの意味と、その役割、プレゼン全体での位置づけについてですね。以下に簡潔にまとめます。

- ・ CSVは「Comma-Separated Values」の略で、データをカンマ区切りで保存するファイル形式です。
- ・ このスライドでは、IKAZUCHI (雷) の代理店ユーザー権限ごとの機能比較表において、「CSV DL機能」として登場します。
- ・ CSV DL機能は、ユーザーが契約や注文などの情報をCSVファイルとしてダウンロードできる権限を指します。
- ・ この機能は、データの管理や外部システムへの連携、レポート作成などに便利です。
- ・ プレゼン全体では、IKAZUCHI (雷) の操作性や利便性、役割分担の一部として説明されており、実務での効率化に直結する重要なポイントです。

ソース >

📄 👍 💬 📄 ⌚ ...



Teams×Copilot議事録アップデート

Teams会議で共有画面の画像が会議メモに表示されるようになりました！

🔍 何が便利になったの？

会議で映した画面が、そのまま画像として議事録に残るようになりました！

資料やデモ画面を議事録から確認したい時に非常に便利です。

🌟 効果(社内活用×お客様提案の両面でメリット)

■ メリット

会議で何を共有していたか一目でわかる
不参加者のキャッチアップがスムーズ
メモに画像を貼る手間が不要

■ お客様提案でも高評価

実際に「これは便利だ」という声をいただき
提案の場でも強い反応がありました。

特に、「デモ画面がそのまま議事録に残る」、
「画面と発言内容を同時に振り返れる」という点が
「業務の振り返りに役立つ」というお声も！

コンテンツ
共有されたファイルはありません。

メモ AI 分析の概要 カスタムのリマインダー メンション (1) トランスクリプト

AI 生成コンテンツは誤りを含む可能性があります。

会議のメモ すべて展開

- Microsoft CSPライセンス発注エラーの原因と対応: [氏名]さんが、Microsoft CSPライセンス発注時に発生したエラーの原因を特定し、IDの修正と申請手順を確認しながら、今後の発注が正常に行えるよう対応策を協議した。00:04
- エラー発生の経緯と原因: [氏名]さんが、CSPライセンス発注時にIDの不一致が原因で発注が通らなかったことを説明し、過去にMPNIDの違いについて案内していたが、組織IDと事業所IDの混同が発生していたことが判明した。
- Microsoftパートナーセンターのルール変更: [氏名]さんが、Microsoftが昨年パートナーセンターのルールを変更し、間接プロバイダ連携、リセラー収益要件、セキュリティ要件の3つが新たに求められていることを説明した。
- IDの種類と正しい登録方法: [氏名]さんが、組織IDは企業単位で1つ発行され、事業所IDは複数発行可能でCSPリセラー登録には事業所IDを使う必要があると、今回のエラーは組織IDを登録していたため発生したと説明した。
- 申請・修正手順の実施: [氏名]さんがパートナーセンターにログインし、識別子情報から正しい事業所IDを確認、Microsoft Formsを用いて必要な情報を申請し、[氏名]さんが裏側で修正処理を行うことで、今後の発注が通るようになる手順を実施した。
- 今後の運用とルール対応: 現状は修正で発注可能となるが、今後は自社利用と再販用のID-テナントを分離し、Microsoftのルール変更（間接リセラー連携や収益・セキュリティ要件）に対応する必要があることを確認し、別途作業日程を調整することとなった。

Microsoft/パートナーセンターの操作・確認作業: [氏名]さんが、Microsoft/パートナーセンターへのログイン、識別子やプロフィール情報の確認、必要な画面操作を画面共有しながら実施し、正しいIDの特定と申請に必要な情報を整理した。15:59

- パートナーセンターへのアクセスとアカウント切替: [氏名]さんがパートナーセンターにアクセスする際、管理者アカウントの切替やプライベートブラウザの利用、MFA認証などの手順を [氏名]さんの案内で、正しいアカウントでのログインを確認した。
- 識別子-プロフィール情報の確認: パートナーセンターのアカウント設定画面で、組織IDと事業所ID (PartnerGlobal/PartnerLocation) を確認し、どちらが再販用として正しいかを識別し、今回の申請に必要なIDを特定した。
- Microsoft Formsによる申請作業: 必要な会社名やメールアドレス、代理店コード、正しい事業所IDなどをMicrosoft Formsに入力し、申請を完了させるまでの一連の操作を画面共有しながら実施した。

Microsoft 365 が標準で持つ 監査ログ管理機能

- ・Microsoft 365 上の監査ログの取得
- ・監査ログの保管と出力
(プランにより180日~1年)

監査ログは英数字で表記され読み取りが難しく、
ログ保管期間や出力数にも上限数があるなど、
管理者による運用が難しい



LANSCOPE セキュリティオーディター

- ・Microsoft 365 と連携し、監査ログを取得
「いつ・誰が・何のアプリで・何をしたか」一目で分かるようレポートニング
- ・取得したログは25ヶ月間保管でき、いつでも一括出力が可能
- ・管理画面上での詳細なログ検索機能
- ・「ゲストユーザーの招待状況」「ファイルの共有状況」など、
セキュリティリスクのある操作をアラート設定と通知が可能

このような
ユーザー様
必見！

M365 を導入しており、**セキュリティに不安**を感じている

ゲストユーザー招待やファイル共有機能を活用している

Microsoft 365 の**監査ログを有効活用**したい

| LANSCOPE セキュリティオーディター | |
|-----------------------|--|
| 補足 | 初月無償 詳細ライセンス形態は こちら 新規購入は最低5ライセンス、最低利用期間は6か月(申込月を除く) |
| 標準価格 (税抜) | 初期費用:30,000円 年額/3,600円 |

60日間無料トライアル受付中



【大容量ファイル共有】 DenshoBako (デンショバコ)

【M365x大容量ファイル共有】 営業部・プロモ部・設計部署などでご活用

DenshoBako の特徴

01 容量無制限でファイルを簡単共有

- 複数の提案資料や、会議録画、図面データなどメールで送れないファイルも送ることができます
- Teams や OneDrive に保存した資料を簡単に共有 →



M365画面からファイルを共有

02 ファイルの共有ページの作成

- 外部向けの資料共有ページを簡単に作成することができます
- 「製品カタログページ」「ウェビナー参加者向けのページ」「提案中の顧客との情報連携ページ」など様々な用途で活用

例: ファイル共有ページ



画像クリックで実際の画面をご確認いただけます

DenshoBako の特徴 Microsoft 365 と連携した大容量ファイル共有ツール

- 容量無制限でファイル共有
- ワンタイムパスワードなど送付時のセキュリティ機能
- 監査ログの無期限保持

DenshoBako

補足

利用ユーザー(社内)数の課金 ※10本～

標準価格
(税抜)

年額 6,000円 / ユーザー